

スクールカウンセラーだより 2

R3.6.8

西内小学校 スクールカウンセラー
齋藤 光男

子どもの成長にとって見つめあうことの意味は大きい・・・

赤ちゃんは生まれた後、母親と見つめあうことから人への意識が始まり、愛情の基本を育んでいくと言われます。そのあと、空間を指差し、その指先を母親と一緒に見つめてもらえることで、自分の意思が母親へ伝わったという意識を持つようです。その行動は信頼関係の基礎を作ると言われます。そこで大切になるのは、子どもの意思（指さし）とそれを一緒に見守る大人の関係かもしれません。私たちは子どもが大きくなると、見守ることから方向を示すことが多くなっているかもしれません。まずは子供の意思を尊重し、見守ることが必要なのかもしれません。

休日に歩いていると、田んぼを覗いている子どもとお母さんを見かけました。一緒にカエルを観察しているようでした。子どもにとっては、黙って一緒に見てもらえることだけで安心感が伝わるのかもしれません。ときにはそんな時間があっても良いなと思いました。



誰にでも凸凹はあるもの・・・

以前、カウンセラー自身、記憶が弱くて苦労した話をしました。強い部分もあれば弱い部分もあるということも以前お話ししたように思います。誰にでも凸凹があります。凸凹がなく100%平均的に成長することはありません。内容によっては70%ぐらいの部分もあります。もちろん130%のところもあるでしょう。それが個性になりますね。

例えば中学3年生（15歳）は、部分的には10歳（小学校4年生）ぐらいの部分もあるという事です。その凸凹が、周りに理解されずに全て100%を求められると苦しいのです。

できることもあれば、苦手なこともある。長所を伸ばし、苦手な事はサポートしてもらえれば良いわけです。ただし、「困っていること」に自分で気が付くことも大切です。ですから、思春期には自分を知るとのことや、助けを求められる方法を身に付けることが大切になると言われます



学びをあきらめさせない・・・

人は成長したいという欲求を持っていると思います。但し、「頑張った」という思いや、「できた」という喜びがないと、成長したいという気持ちが少なくなっていくと思います。カウンセラーは覚えることが苦手だと言いました。あるアニメ番組を見ていて、とても感動したので、アニメの名前を知りたくなりました。そこで、近くにいた友達に番組名を聞くと、とても丁寧に教えてくれました。でも、数分後には忘れてしまいました。そこで、再び聞き返すと「さっき言ったよ。～だよ」と、再び丁寧に教えてくれました。

でも数分後に忘れてしまいます。
また同じ友達に聞くと「何度言ったらわかるんだよ。～だよ」と切れがちに言われました。
きまずい思いと、覚えられない自分に気が付きました。
でも、数分後に忘れてしまい、また聞いていくと「いいかげんにしろよ」と言われました。
そのあと、聞くことをあきらめました。



ここで大切なことは、自分は覚えることが苦手だという事をわかっていれば、最初からメモを取ります。また、聞く時に「メモに書いてもらえる？」と頼むこともできたでしょう。嫌な思いをして、学びをあきらめるか。自分にあった学び方を知って学びを続けるかの差は大きいと思います。
私たちは、子どもの得意な事や苦手な事を知り、その子にあった学び方を提案してあげることも大切ですね。

「普通ってなんだろう」・・・

子供に、いろいろ話をすると「普通」という言葉が返ってくる人が多いです。
「今は、どんな感じ？」という質問をすると「可もなく、不可もなく、普通の暮らしがしたい」という言葉が返ってきたことがあります。その言葉の背景には何があるのでしょうか。人と違う事への不安感や、まわりからの孤立、自信の無さもあるように感じます。人は凸凹があり、一人一人違うのが個性だという話をするがキョトンとしている子もいます。「普通ってなんだろう？」と思います。
カウンセラーは発達障害のを中心に仕事をしているときもありましたが、考えさせられる番組としてNHK Eテレに「普通って何だろう」という番組がありました。インターネットで検索していただくと出てくると思いますが、もともと、「普通」ってなんでしょうか。できれば子どもと一緒に見てもらいたい番組です。2分ぐらいの短編アニメが数本あり、そこではいろいろな普通が出てきます。



年齢相応の経験値を持たせたい・・・

最近、年齢相応の経験値を重ねている子が少ないかなと感じます。様々な習い事も経験に違いないですが、自分で考えて行動する経験が欲しいと思います。
資源回収のときに一緒に手伝う、一緒に草むしりをする、夕飯のお買い物をしてくる等です。《好きなお菓子を自分で考えて選ぶ、自分でレジに並びレジの人の話を聞く、自分でお金をレジに払う》みたいな行動でも良いです。
自分で考え、みんなに認められた、成功したという喜びは自信にもつながります。経験値が低い子は、不安なので自分から行動を起こすという事はあまりありません。
年齢相応の経験値を持たせたいですね。
まずはお手伝いからスタートでしょうか。

